

新年の思いを乗せて書き初めをしました。

全学年が、1月10日(水)に新年試筆(書き初め)を行いました。冬休みの期間中に家庭で取り組んだ課題に挑戦しました。1年生は「スイミー」という物語の一節を、2年生は「せいひ」という詩を硬筆で書きました。3年生は「正月」、4年生は「平和」、5年生は「出発」、6年生は「希望」という字を毛筆で書きました。どの子も気持ちを落ち着けて、集中して鉛筆や筆を動かしていました。この中から、学年で作品を1点選び「三泗小中学校書写展覧会」に出品します。

私は、子どもたちへの願いを込めて「平和」「笑顔」「ぬくもり」「人(ひと)にやさしく」と書き、校長室前の掲示板に掲示しました。

子どもたちの作品は「校内書写展」として1月22日(月)から26日(金)まで、管理棟2階 理科室、家庭科室前廊下に掲示しています。1月24日(水)の授業公開時には子どもたちの力作を、ぜひご覧ください。

第3回避難訓練を行いました。

1月12日(金)に「第3回避難訓練」を行いました。全く予告をせずに、20分休みの時間帯を使って行いました。訓練開始時には、子どもたちはさまざまな場所に散らばっていましたが、さっと行動ができ、わずか2分30秒で最終点呼までを終えることができました。今回は、東南海地震(震度5強から6弱の地震)が起こったという想定で、教頭先生による放送の指示に従い、身を低くし、揺れがおさまるのを待ってから、指定されている避難場所へと移動しました。校舎内にいた子は防災頭巾をかぶって、外で遊んでいた子は校舎から離れることを意識して避難をしました。避難時の心構えとしては、「押さない」「走らない」「しゃべらない」「戻らない」の『おはしも』を意識しました。いざという時に、焦らず冷静に行動・判断ができるようにしてほしいと思います。災害時は、ちょっとしたことで命を失うことにもつながります。自分の命は自分で守れるように、今後も意識を高く持ってほしいと思います。

今から29年前、1995年1月17日午前5時46分に兵庫県の淡路島北部沖の明石海峡を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生しました。後に「阪神・淡路大震災」と呼ばれるこの大地震は、約6,500人もの犠牲者を出しました。死因のほとんどは、家屋の倒壊や家具などの転倒による圧迫死だったと伝えられています。元日には最大震度7の「能登半島地震」が起こり、石川県では、210名を超える多くの方々が亡くなっています。

災害はいつやってくるかわかりません。ご家庭でも、災害が起こった場合には「どこに逃げるのか」「連絡方法はどのようなのか」「非常袋はどこにあって、誰が持っていくのか」等、ぜひ災害時の対応について話し合い、確認をしてみてください。

職員の退職、交代がありました。

12月末をもって、お世話になった給食調理員の〇〇〇〇さんが退職されることになりました。また、3学期から英語指導員(HEF)の〇〇〇〇・〇〇〇〇(通称イーザ)先生に代わり、〇〇〇〇・〇〇〇〇先生が着任されました。お知らせください。

水沢本町交差点付近の仮徒歩区域が撤去されます。

現在工事のため設置されている水沢本町交差点付近の仮徒歩区域が、1月15日(月)に撤去されるとの連絡が入りました。しばらくは、歩道のない道路上を歩いて登下校をすることになります。学校でも注意喚起の指導を行いますが、ご家庭でも気をつけるようにご指導をよろしくお願いします。(文責 北住 昌文)

